

厚塗下地調整・補修材（0～15 mm）

ポリマーダッシュ

【施工要領書】

令和3年4月1日



二瀬窯業株式会社

用途

- 適応下地 コンクリート、PCパネル、ALCパネル、ブロック等
 不陸調整 塗厚0～15mmの下地調整及び補修材
 適用仕上材 クロス、水性塗料、樹脂系仕上材、Pタイル、タイルカーペット、仕上塗材、セラミックタイル等

施工手順

1. 下地の確認

- 1) 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- 2) 極端な不陸・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分等は予めポリマーダッシュで付け送りして下さい。
 ※付け送りした際には、24時間以上養生を行って下さい。
- 3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、防錆処理して下さい。

2. 吸水調整

- 1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3を水道水にて3倍に希釈したものを、施工面全面に塗付して吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、ポリマーダッシュの施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。
 ※吸水の激しい下地（ALCパネル等）の場合はユニレックス3の5倍希釈液を2回塗布して吸水調整を行ってください。

【希釈配合】

	調合 (水道水：ユニレックス3)	標準塗布量	標準施工面積
3倍希釈	2：1	200g/m ²	約270m ² /18kg缶
5倍希釈	4：1	150g/m ²	約600m ² /18kg缶

3. 材料の混練

- 1) ポリマーダッシュ 1袋（25kg）に清水約7.5Lを加えてモルタル用かくはん機等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

調合...ポリマーダッシュ 25kg + 清水 約7.5L

ポリマーダッシュ 約3.8m²（塗厚5mm時）

4. 塗り付け

- 1) 施工面にピンホール等があれば、まず拾い塗りをして下さい。
- 2) 施工面に対してコテ圧を十分にかけてしごき塗りを行って下さい。
- 3) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けて下さい。

5. 仕上げ

- 1) 仕上げ施工に応じて、定木ずり、木ゴテ等で仕上げてください。
- 2) 定木ずりを行なう場合は、定木は下から上へ送るようにして下さい。
※水を使用しての仕上げは行なわないで下さい。

6. 養生

- 1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- 2) 夏場施工の際には、ポリマーダッシュの塗り付け翌日に散水養生を行って下さい。
- 3) 塗り付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

注意事項

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. ポリマーダッシュの保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. ポリマーダッシュには、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は40分以内に使用して下さい。また、水を加えての練り返しは行わないでください。